

令和7年長浜市議会定例会
令和8年5月特別議会
市長提案説明

令和8年5月20日

近況報告

北近江豊臣博覧会がつなぐ、周遊とまちづくり

議案説明

・ 条例 1 議案（議案第 47 号）

本日ここに、令和8年5月特別議会を開会いたしましたところ、議員の皆様にはご参集を賜り、厚く御礼申し上げます。

提案いたしました議案の説明に先立ち、近況についてご報告申し上げます。

大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送を契機として、北近江豊臣博覧会が開催され、長浜城下町、浅井・小谷城下町、賤ヶ岳合戦の各エリアを中心に、戦国ゆかりの歴史文化の魅力が発信されております。

このゴールデンウィークには、その効果を実感する場面がございました。黒壁スクエア一帯は観光客で大変なにぎわいとなり、商店街には絶え間ない人の流れが生まれ、飲食店には行列ができました。長浜城歴史博物館では、期間中の入館者数が前年を大きく上回り、小谷城戦国歴史資料館では、大型連休後半に1日1,000人を超える来館者が続くなど、市内各所でにぎわいを見せました。

こうした人の流れは、長浜が持つ歴史、文化、まちなみ、自然や食の魅力に加え、北近江豊臣博覧会をはじめとする

大河ドラマ関連の取組が相まって生まれているものと認識しております。

大切なことは、このにぎわいを中心市街地など市内の一部地域だけで終わらせるのではなく、浅井・小谷、賤ヶ岳、木之本、余呉など市内各地域への周遊と滞在につなげることです。そして、その流れを一時的なものにとどめず、JRグループと自治体等が連携して全国から誘客を図る「ディステーションキャンペーン」の3か年の取組とも連動させながら、博覧会後も続く持続的な観光と地域活性化の仕組みへと育てていくことが重要であります。

その具体的な取組の一つが、先般、木之本地域にリニューアルオープンした「三献の宿～木之本～」です。この施設は、市の宿泊観光施設であった己高庵を、民間事業者の知恵と経営力を生かして再生したものであり、歴史観光と連動した宿泊・滞在の拠点として、北部地域への人の流れを生み出すものと考えております。

今後は、市内に点在する戦国ゆかりの史跡を線で結び、福井、岐阜、愛知へと広がる歴史的なつながりを面として捉える「戦国ベルト地帯構想」を具体化してまいります。

三献の宿を周遊の起点の一つとし、博覧会を契機に生まれたにぎわいを、博覧会後も続く地域のカへとつなげてまいります。

この追い風を市内各地域へ広げ、長浜全体の持続的な活カへとつなげていくため、引き続き、議員の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

それでは、提案いたしました議案につきまして、ご説明申しあげます。

議案第47号「長浜市病院事業の設置等に関する条例の一部改正」につきましては、令和8年3月27日の厚生労働省告示により、患者のご希望により先発医薬品を選択された場合における後発医薬品との価格差の負担割合が改められることになったため、所要の改正を行うものです。

本議案は、国の制度改正に伴うものであり、本年6月1日の適用期日までに準備を整えてまいりたいと考えておりますので、なにとぞ慎重なるご審議の上、ご議決を賜りますようよろしくお願い申し上げます。